

令和8年度

# シラバス(専門教科)

～農林技術科 1年～



鹿児島県立伊佐農林高等学校

# 農林技術科 1 年 専門教科

- 1 農業と環境  
栽培・環境分野  
飼育・環境分野
- 2 総合実習
- 3 農業と情報

<b>農業と環境</b> (栽培・環境分野)	単 位	4 単位
	学科・学年・学級	農林技術科 第1 学年

学習到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	1 農業と環境について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につけるようにする。 2 農業と環境に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。 3 農業と環境について基礎的な知識と技術が農業の各分野で活用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。
使用教科書・副教材等	農業と環境 (実教出版)

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

	学 習 内 容	評 価 規 準	備 考
1 学期	第1章 農業と環境を学ぶ 1 農業学習とは何か 2 農業と環境の学び方 3 学校農業クラブ活動  第4章 栽培・飼育と環境のプロジェクト 3 トウモロコシの栽培と利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業と環境の学び方について理解し、関連する技術を身につける。</li> <li>・農業と環境の学びに関する課題を発見し、科学的根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。</li> <li>・農業と環境の学び方について、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む。</li> </ul> ※第4章の評価規準は2学期の欄参照	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野菜や草花の栽培管理や観察、実験などを展開する。</li> </ul>
2 学期	第4章 栽培・飼育と環境のプロジェクト 7 ハクサイの栽培と利用 10 花壇用草花の栽培と利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業と環境に関するプロジェクト学習の意義及び方法と進め方を理解する。</li> <li>・作物の特性や育成と環境要素、生産計画と工程管理について基礎的な内容を理解する。</li> <li>・プロジェクト学習に主体的・協働的に取り組もうとしている。</li> </ul> ※進捗状況により第3章についても一部学習する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野菜や草花の栽培管理や観察、実験などを展開する。</li> </ul>
3 学期	第3章 栽培と飼育の基礎 1 作物の特性と栽培のしくみ 2 作物をとりまく環境とその管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作物の特性や生育環境・管理に関する基礎的なことを理解し、関連する技術を身につける。</li> <li>・作物栽培とそれらの生育環境を多面的・科学的に考察し、想定される管理上の諸課題について整理し、解決に向け創造的に解決しようとしている。</li> <li>・作物に興味・関心を示し、その特性や管理、および生育に影響を及ぼす環境要因について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野菜や草花の栽培管理や観察、実験などを展開する。</li> </ul>

(2) 評価の観点、内容及び評価方法

皆さんの学習状況は、「知識・技術」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。

	評価の観点及び内容	評価方法
知識・技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業と環境に関する基礎的な知識を習得し、それぞれの農業生産物の特性とそれを取り巻く栽培環境との関係を理解しているか。</li> <li>・農業と環境に関する基礎的な技術を習得し、プロジェクト学習の中で適切に生かすことができるか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・発言</li> <li>・ワークシートの記入</li> <li>・レポートの記入</li> </ul>
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業について科学的な思考と問題解決能力を身に付け、日々の観察記録簿や資料等を使って調査したことの中から分析し考察することができるか。</li> <li>・栽培上の課題を合理的に判断し、日々の観察記録簿の中でのスケッチを利用した観察や考察が正しく表現することができるか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動観察</li> <li>・実技</li> <li>・服装・忘れ物</li> <li>・欠席・遅刻</li> <li>・大会・競技会・コンテスト</li> </ul>
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業と環境についての興味・関心を持ち、プロジェクト学習に主体的に取り組む、課題解決に向けて積極的活科学的に取り組もうとする実践的な態度を身につけているか。</li> </ul>	

【観点別学習状況の評価】

「A：十分満足できる」・「B：おおむね満足できる」・「C：努力を要する」状況と判断されるもの



<b>農業と環境</b> (飼育・環境分野)	単 位	4 単位
	学科・学年・学級	農林技術科 第1 学年

学習到達目標等

学 習 の 到 達 目 標	1 農業と環境について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につけるようにする。 2 農業と環境に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。 3 農業と環境について基礎的な知識と技術が農業の各分野で活用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。
使用教科書・副教材等	農業と環境 (実教出版)

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

	学 習 内 容	評 価 規 準	備 考
1 学 期	第2章 私たちの暮らしと農業・農村 1 人間と植物・動物のかかわり 2 農業と食糧供給 3 農業農村の役割 4 これからの社会と農業農村	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動植物の生命活動、生物間のつながり、生物のからだを構成する物質の循環について学ぶ。</li> <li>・人間社会の発展を支える農業の役割について考える。</li> <li>・農業・農村のもつ環境保全、景観形成、文化の伝承など、農産物の生産と供給以外の多面的な機能と役割を学ぶ。</li> </ul>	
2 学 期	第4章 栽培・飼育と環境のプロジェクト 1 ニワトリの飼育 (1) 課題設定と飼育計画 (2) 飼育の実際	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業と環境に関するプロジェクト学習の意義及び方法と進め方を理解する。</li> <li>・農業生物の飼育と加工や、環境保全のプロジェクトを通して、農業と環境に関する知識と技術を身につける。</li> <li>・実際にニワトリを飼育することで、ニワトリの習性や行動、からだの特徴などを学ぶ。そして、卵と肉を生産するための知識と技術を身につけ、家畜とそれを食べる人間の関係を理解する。</li> </ul>	
3 学 期	第3章 栽培と飼育の基礎 3 家畜の特性と飼育 (1) 家畜の飼育 (2) おもな家畜の一生と生涯 (3) 家畜の成長と繁殖 (4) 家畜の飼料と栄養	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家畜とその飼育に関する基礎的なことを理解するとともに、関連する技術を身につける。</li> <li>・家畜とその飼育についての多面的・科学的に考察し、想定される管理上の課題について整理し創造的に解決している。</li> <li>・家畜とその飼育に興味関心を示しその特性や管理、および生育に影響を及ぼす環境要因について自ら学び主体的に取り組む。</li> </ul>	

(2) 評価の観点、内容及び評価方法

皆さんの学習状況は、「知識・技術」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。

	評価の観点及び内容	評価方法
知識・技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業と環境に関する基礎的な知識を習得し、それぞれの農業生産物の特性とそれを取り巻く飼育環境との関係を理解しているか。</li> <li>・農業と環境に関する基礎的な技術を習得し、プロジェクト学習の中で適切に生かすことができるか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・発言</li> <li>・ワークシートの記入</li> <li>・レポートの記入</li> </ul>
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業について科学的な思考と問題解決能力を身に付け、日々の観察記録簿や資料等を使って調査したことの中から分析し考察することができるか。</li> <li>・飼育上の課題を合理的に判断し、日々の観察記録簿の中でのスケッチを利用した観察や考察が正しく表現することができるか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動観察</li> <li>・実技</li> <li>・服装・忘れ物</li> <li>・欠席・遅刻</li> <li>・大会・競技会・コンテスト</li> </ul>
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業と環境についての興味・関心を持ち、プロジェクト学習に主体的に取り組む、課題解決に向けて積極的活科学的に取り組もうとする実践的な態度を身につけているか。</li> </ul>	
【観点別学習状況の評価】		
「A：十分満足できる」・「B：おおむね満足できる」・「C：努力を要する」状況と判断されるもの		

<h1>総合実習</h1>	単 位	3単位
	学科・学年・学級	農林技術科 第1学年

1 学習到達目標等	
学習の到達目標	(1)体験的な学習を通して、総合的な知識と技術を習得します。 (2)専攻においての内容理解を深め、基礎的専門分野の知識や実技など実践的な能力と態度を育てます。
使用教科書・副教材等	実習ノート

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

	学 習 内 容	評 価 規 準	備 考
1 学 期	<b>授業</b>  ・牛、林業、食品加工をローテーションで学ぶ  ・農林館の販売を行う	・農林業の各分野の基本的な作業管理・技術を学び、専門的知識・技術を学びます。  ・2年次の専攻学習へ向け、自分の興味・関心を高めます。	
2 学 期	<b>当番</b>  ・牛、養豚、園芸、林業、食品加工を学ぶ	・農林館販売を通して生産物評価について学び、販促技術の向上や地域交流で社会性・指導性を身に付けます。	
3 学 期		・農業クラブ各種競技の校内選考を通して、競技に向けた意欲向上と農業に関する知識を深めます。	

(2) 評価の観点、内容及び評価方法

皆さんの学習状況は、「知識・技術」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技術	・各専攻に関する基礎的な知識と技術を身につけ、特性と社会環境の関係や育成の過程等を理解しているか。	・出席、実習態度 ・実習ノートの提出状況や内容 ・意見発表大会への参加 ・鑑定競技会への参加
思考・判断・表現	・管理記録の分析など課題を多面的に考察しているか。 ・見出した課題を科学的にとらえて合理的に解決する実践的な能力を身につけているか。	
主体的に学習に取り組む態度	・各専攻に対して興味・関心を高めているか。 ・実習に意欲的に取り組むとともに、その課題を科学的に捉えたり、合理的に解決しようとしているか。	

【観点別学習状況の評価】

「A:十分満足できる」「B:おおむね満足できる」「C:努力を要する」状況と判断されるもの

農業【農業と情報】	単 位	3単位
	学科・学年・学級	農林技術科 第1学年

1 学習到達目標等

学習の到達目標	(1)情報及び情報技術を活用するための知識と技能の習得を通して、情報に関する科学的な見方や考え方を養います。 (2)社会の中で情報及び情報技術が果たしている役割や影響を理解させ、情報化の進展に主体的に対応できる能力と態度を身につけます。
使用教科書・副教材等	教科書：実教出版「農業と情報」 副教材：ビジネス文書実務検定模擬試験問題集（3級）

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

	学習内容	評価規準	備考
1 学期	1 生活と農業の情報化 ア 生活と情報 イ モラルとセキュリティ ウ 農業を支える情報 2 情報の基礎 ア コンピュータのしくみと利用 イ ネットワーク 3 コンピュータによる情報の活用	・ネットワーク社会について理解します。 ・情報の種類とその表現方法を理解します。 ・情報通信ネットワークの概要、種類と特徴を理解します。 ・コンピュータの利用について理解します ・日本語ワードプロセッサの特徴と機能を理解します。 ・日本語ワードプロセッサの操作方法を身につけます。	
2 学期	ア 日本語ワードプロセッサの利用  イ 表計算ソフトの利用	・検定試験に向けての実技演習を行います。  ・表計算ソフトの特徴と機能を理解します。 ・表計算ソフトの利用方法を身につけます	
3 学期	ウ プレゼンテーションソフトの利用	・プレゼンテーションソフトウェアの基本操作を理解します。  ・学校紹介プレゼンを作成します。	

(2) 評価の観点、内容及び評価方法

皆さんの学習状況は、「知識・技術」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技術	農業情報処理の基本的な知識と基礎的な技術を身につけている。	学習活動の取組 毎時間のファイル提出 定期考査 資格取得
思考・判断・表現	基本的な操作や技術を理解して、それらを状況に応じて創造的に考えて、利用・表現できる。	
主体的に学習に取り組む態度	ワープロや表計算、プレゼンテーションソフトの学んだ技術を総合的に活用するとともに、資格取得などに主体的に取り組んでいる。	
【観点別学習状況の評価】 「A：十分満足できる」・「B：おおむね満足できる」・「C：努力を要する」状況と判断されるもの		